



CIRのつぶやき



国際理解教育・国際交流・国際協力・国際観光・多文化・相互理解と友好を図る

Facebook page : 滝川市国際交流員/Takikawa CIRs

いいね! 押してね

2021.02.01 第10号 モンゴルのお正月「ツァガン・サル」

ЦАГААН САР

皆さん、サインバイノー！モンゴルの国際交流員ボロルです。今回の記事では、モンゴルのお正月について紹介したいと思います。モンゴルのお正月は旧暦に従って決められるので、日にちは毎年変わります。モンゴル語でお正月のことを「ツァガン・サル」と言います。2021年は2月12日が元旦となっていますが、残念ながら、コロナの影響で通常通りのお祝いはできないかもしれませんね。



ツァガン・サルには、家族、親戚、友人が集まり『ごちそう』を楽しみながら、一年間の幸せを祈ります。ツァガン・サルはごちそうを口にする順番や挨拶のしかたなど決まり事が多く、モンゴルの文化を一年で一番感じられる行事です。

元旦には、日の出前に起きます。新しい服か綺麗な服（伝統衣装「デール」を着る人が多い）に着替え、各家庭の主人をはじめ家族全員が外でそれぞれの幸運の方向に歩いたりする儀式を行います。家庭によってはお父さんが代表して儀式を行うこともあります。この儀式の後、日の出とともに家族との挨拶を交わしますが、この時も決まりことがあります。

まず、その家の一番年上の人が入座に座り、皆が年齢の順番で全員と挨拶します（写真①）。但し、夫婦同士又は妊娠している女性同士は挨拶しません。

挨拶の仕方

写真②の通り手のひらを上に向けて両腕を重ね合わせて「アマルバイノー！」と言いながら挨拶します。厳密に言えば、年長者の腕が上になるように年少者が腕を下から差し入れて、右・左と頬を近づけます。軽くキスされることもあります。同じ位の年の人には同等ということで、左右の腕が互い違いになるようにします。挨拶の時は帽子をかぶり、袖をまくったりしないで、姿勢を整えてから交わすのが礼儀です。また、必ずではないですが、礼儀として年配の方がハダグ（仏教行事に利用する青布）を持ったり、年下の人がお金を手のひらに広げて挨拶をして年上の人に差しあげることもあります。



ハダグ



CIRのつぶやき



国際理解教育・国際交流・
国際協力・国際観光・多文化・
相互理解と友好を図る

Facebook page :
滝川市国際交流員/Takikawa CIRs

2021.02.01 第10号 ツァガン・サルの「ごちそう」



家族との挨拶が終わったら、モンゴルの伝統的なお茶である「スーテイ・ツァイ（塩味の乳茶）」を飲んで、「ポーズ（モンゴルの蒸し餃子）」を食べて家族で新年を迎えます。そして、親戚・友人と挨拶しに出かけ、1日何軒もまわります。自分の家に挨拶に来た訪問客をおもてなしすることも大切です。訪れた訪問客の帰り際にプレゼントを渡す習慣があります。訪問客を手ぶらで帰らせるのは縁起が悪いと言われます。

プレゼントを片手で受け渡ししてはいけません。必ず両手で差し出したり、受け取ったりします。ツァガン・サルが終わるとモンゴルには春が訪れ、季節の挨拶も「良い冬を」から「良い春を迎えていますか」に変わります。

ツァガン・サルはモンゴルのお祝いのごちそうでいっぱいです。あいさつ回りをしてそれぞれの家庭のごちそうを味わうことができます。ツァガン・サルの重要な料理はお祝いには欠かせないモンゴル料理の代表「ポーズ」です。訪問客が訪れたら、まずは冷凍ポーズを蒸します。出来上がったアツアツのポーズを最初に3個以上の奇数で自分のお皿に取ってから食べるのが礼儀です。

一家庭で約500～1500個くらいのポーズを家族総出で作ることはお正月の重要な準備の一つです。ポーズは皮から作って肉を包み、バルコニーなどで凍らせます。ちなみに、モンゴルの冬は -35℃まで気温が下がりますので、ポーズは約1時間ぐらいで凍ります。その他、馬乳酒をはじめとするごちそうの準備、買い物、プレゼントの用意、大掃除など一年で一番大切な日を迎える準備で忙しい時期です。(ポロル)



ポーズ



オーツ
尻尾🐑



ヘビーン・ボーブ

お正月の時に必ず食べる肉を小麦粉の皮で包んで蒸した料理です。中身は羊肉または牛肉とタマネギで、味付けは基本的に塩、こしょうだけの方が多いです。

ツァガン・サルには欠かせない、モンゴルらしい料理です。ちなみに、モンゴルの羊は写真のように大きな尻尾があり、健康に良い成分が多く含まれて自然の恵みとも言われます。

木製の型で形をとった揚げ菓子です。下から「幸せ・不幸せ・幸せ」と数えるので奇数段積み上げて、乳製品や角砂糖などで飾ります。一番最初に口にすることがおすすめです。